

## 令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

### 1. 総会の開催

令和6年3月1日、第65回全林研通常総会を全国町村会館において開催した。

### 2. 役員会の開催

令和5年6月3日 岩手県盛岡市

- (1) 全林研令和5年度の行事予定等について
- (2) その他

令和5年8月23日 全国林業改良普及協会会議室

- (1) 農林水産省農林水産政策研究所からの報告  
自伐(型)林業を用いた地域振興に関する都道府県・市町村意向調査の結果について
- (2) 執行部からの情報提供及び意見交換等
  - ①未来の林業を支える林業後継者養成事業の実施について
  - ②中央研修会の開催について
  - ③役員体制について
  - ④デジタル広報推進委員会について
  - ⑤全林研だより「緑創」について
  - ⑥今後のスケジュール等について  
(林業グループコンクール、森林・林業を支える女性が実施する事業への支援等)

令和6年2月29日

- (1) 第64回通常総会提出議案
- (2) その他

### 3. 執行部会の開催

令和5年4月20日 全国林業改良普及協会会議室

- (1) 全林研令和5年度の行事予定等について
- (2) その他

令和5年6月23日 全国林業改良普及協会会議室

- (1) 機関誌の発行体制等について
- (2) 今後の行事について(中央研修会、林業グループコンクール等)
- (3) 役員体制について
- (4) 未来の林業を支える林業後継者養成事業について
- (5) その他

このほか、必要に応じてオンラインにより開催した。

主な開催内容

- 中央研修会の運営方法の検討
- デジタル広報推進委員会による情報発信について
- 令和5年度全国林業グループコンクールの運営方法の検討
- 通常総会の運営方法の検討
- 補助事業の進展状況の確認
- 林野庁への要望事項の検討

#### 4. ブロック林業グループコンクールの開催

各都道府県代表者によるグループ活動・研究成果の発表が、全国6ブロックにおいて集合、一部書面により開催され、全国林業グループコンクールへの代表グループ及びそれに次ぐグループを決定した。

##### ○北海道・東北ブロック（青森県）

- ブロック代表グループ 大江町光林会（山形県）
- 2位グループ 会津里山森林資源育成研究会（福島県）

##### ○関東・山梨ブロック（神奈川県）※書面開催

- ブロック代表グループ 子育て支援ステーション ニッセ（千葉県）
- 2位グループ 特定非営利活動法人 青梅林業研究グループ（東京都）

##### ○中部・北陸ブロック（石川県）

- ブロック代表グループ 魚津地区林業研究グループ協議会（富山県）
- 2位グループ フォレストケア高田（福井県）

##### ○近畿ブロック（大阪府）

- ブロック代表グループ 茨木里山を守る会（大阪府）
- 2位グループ 野迫川村林業研究会（奈良県）

##### ○中国・四国ブロック（山口県）

- ブロック代表グループ 三隅林業研究グループ（山口県）
- 2位グループ かみやま林業振興会（徳島県）

##### ○九州ブロック（鹿児島県）

- ブロック代表グループ 黒木町林業振興会（福岡県）
- 2位グループ 佐伯市林業研究グループ「あさぎりの会」（大分県）

5. 第 51 回全国林業後継者大会の開催

令和 5 年 6 月 3 日、岩手県盛岡市（盛岡市民文化ホール 大ホール）において、岩手県、盛岡市、岩手県林業研究グループ連絡協議会と本会との共催で開催した。

大会テーマ：「つなげよう 豊かな森林を 次世代へ」

参加者数：約 470 人

6. 全国林業普及研修大会

令和 5 年 12 月 1 日、東京都千代田区の全国町村会館において全国林業普及研修大会を全林協、全普職と本会の共催により開催した。

7. 全国林業グループコンクールの開催

令和 6 年 2 月 29 日、全国町村会館において、全国 6 ブロックで実施された林業グループコンクールにおいてブロック代表となった 6 グループの代表者による発表大会を開催し、農林水産大臣賞・林野庁長官賞（別掲）を決定した。

8. 中央研修会の開催

令和 5 年 11 月 17 日、東京千代田区海運ビル 304 会議室において、これまでのグループリーダー研修会に代わり、中央研修会として女性活躍等をテーマに、集合とオンラインにより開催した。

9. 第 27 回はつらつ林業女性交流会及び全林研女性会議第 27 回通常総会の開催

令和 6 年 2 月 22 日、オンラインにより、はつらつ林業女性交流会などを開催した。

10. 林業グループ活動・研究事例集の発行

令和 4 年度ブロック林業グループコンクールにおいて、各都道府県代表グループが発表した要旨を収録し、林業グループ活動・研究事例集として 400 部作成、有償配布した。

11. 機関誌の発行

全林研だより「緑創」第 52 号を 6,000 部発行し、10 月に各都道府県林研連及び各単位林研グループへ送付した。

今年度から「緑創」と女性会議機関誌「はつらつ」を統合し、はつらつコーナーとして女性会議の情報を掲載することとした。

12. 林研グッズの販売、「緑の募金」への協力

ポロシャツ、Tシャツ、帽子、エコタオルなどの林研グッズを、都道府県林研連の協力により販売し（別紙参照）、一部の収益金を「緑の募金」に拠出した。

13. 林野庁補助事業の推進

次代の林業を担う人材を確保するとともに、女性林業者等の定着促進を図るため、補助事業を実施した。

14. 国会議員への陳情活動

国会議員に対して12月1日に陳情を行った。

**令和5年度収支決算書**  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般会計

(単位：円)

項 目	決算額	予算額	差引増減	備 考
<b>1. 収入の部</b>				
会 費	920,000	920,000	0	
全 林 協 助 成 金	1,300,000	1,000,000	300,000	
事 例 集 販 売 額	399,730	500,000	△ 100,270	
全 林 研 グ ッ ス 販 売 額	2,848,360	3,000,000	△ 151,640	
広 告 料	280,000	280,000	0	「緑創」広告料/大日本山林会、森林施業プランナー協会
雑 収 入	12	1,000	△ 988	
<b>収 入 合 計</b>	<b>5,748,102</b>	<b>5,701,000</b>	<b>47,102</b>	
<b>2. 支出の部</b>				
会 議 費	2,838,717	1,800,000	1,038,717	総会、中央研修会、役員会等
事 業 推 進 費	188,116	200,000	△ 11,884	諸団体会費等
機 関 誌 発 行 費	584,639	900,000	△ 315,361	制作費、発送料
事 例 集 発 行 費	505,560	500,000	5,560	制作費、発送料
全 林 研 グ ッ ス 制 作 費	2,197,306	3,000,000	△ 802,694	制作費、発送・保管料
緑 の 募 金 拠 出 金	50,000	50,000	0	
事 務 局 費	433,815	380,000	53,815	事務所賃料、Webサイト運用管理費、振込手数料等
<b>支 出 合 計</b>	<b>6,798,153</b>	<b>6,830,000</b>	<b>△ 31,847</b>	
当 期 収 支 差 額	△ 1,050,051	△ 1,129,000	78,949	
前 期 繰 越 金	14,777,501	14,777,501	0	
次 期 繰 越 額	13,727,450	13,648,501	78,949	

特別会計(国庫補助金/未来の林業を支える林業後継者養成事業)

項 目	決算額	予算額	差引増減	備 考
<b>1. 収入の部</b>				
未 来 の 林 業 を 支 え る 林 業 後 継 者 養 成 事 業	21,118,000	21,118,000	0	
<b>2. 支出の部</b>				
未 来 の 林 業 を 支 え る 林 業 後 継 者 養 成 事 業	21,118,000	21,118,000	0	

## 監 査 報 告 書

全国林業研究グループ連絡協議会の令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）における会計について、収支計算書等の監査書類につき、監査した結果、会計処理は適正、かつ正確であることを認めます。

令和6年 4 月 20 日

監 事 秋田県森と水の協会林業後継者部会  
塩 田 康 之 

監 事 富山県林業研究グループ連絡協議会  
森 田 義 昭 